

九州北部豪雨の被災地支援に貢献

7月5日から6日にかけて九州北部を記録的な豪雨が襲い、土砂崩れや増水などによって多くの集落が孤立する等、大きな被害が発生しました。

このような中、火力部では九州電力㈱からの要請を受け、さる7月10日、11日の2日間、朝倉市と東峰村の避難所4箇所に、当社が所有するスポットクーラー9台を設置しました。(後日、移設等も実施)

設置作業に対応するため、大牟田事業所の精鋭メンバーを編成し、即座に現地に急行。

避難所によっては、道路損壊等で車の乗り入れができず、歩いてスポットクーラーを運搬せざるを得ない場所もあるなど、作業は非常に困難を極めました。社員達は休む間も惜しみながら夜間まで作業を行いました。そして、高い使命感と懸命な努力によって、何とか2日間で設置を終え、熱中症が懸念される避難所の環境改善に大きく貢献することができました。

また、設置作業に対応した社員から「テレビで被災地の状況を見て、何か支援できることはないかと考えていたので、被災地と被災された方々の役に立つことができ非常に嬉しい」との声を聞くことができました。

最後に、この度の豪雨によって被災されました皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。また、災害の復旧が一刻も早く行われますことを祈念いたします。

被災地支援に携わった
大牟田事業所の皆さん

原江哲也さん、赤峰知洋さん、
児玉洋一さん、岩崎忠俊さん、
山口 功さん、後藤 豊さん、
稲永一馬さん、西 和仁さん、
寺下裕耶さん、中原隆成さん、
松山拓矢さん



▲避難所にスポットクーラーを設置



▲無事に設置完了

火力部



▲持参したスポットクーラーの荷卸し



▲被災者のことを心配し、急いで運搬しました



▲トラブルもなく無事に作業を終えたメンバー
(被災地での支援、大変お疲れさまでした)